

# 農業研究に係る合同成果発表会

～世代でつなぐ農業の未来と新技術を考える～

## 開催要領

**目的** 農業技術の研究を担う職員や学習に取り組む学生等が其々の研究活動とその成果を発表、情報共有、意見交換することで、知識、技術の向上を目指す。

また、今回は県、大学、高校が集う初の試みであり、今後さらに有意義な大会となるように参加者も含め意見交換の場とするとともに、未来の福井県農業に貢献できる研究や教育について考える機会とする。

**主催** 福井県農業試験場

**日時** 令和4年2月28日（月）13：30～16：30

**会場** teams リモート開催（農業試験場がホスト会場）

## 内容・日程

開会・概要説明	13：30～13：40
○農業試験場、福井県立大学、福井農林高校の各発表 発表課題 農試：3課題、 大学：2課題、 高校：2課題 → 課題名は別紙一覧 (発表10分+質疑応答5分 105分)	13：40～15：25
○休憩（10分）	
○それぞれの活動、機関施設等への質疑応答や情報交換	15：35～16：05
全体講評・閉会	16：05～16：15

**参集者** 福井農林高校（学生、教諭等）、福井県立大学（学生、教授等）  
福井県農業試験場、園芸振興課、農林総合事務所等関係機関  
その他、聴講者（坂井高校、若狭東高校関係者）、福井県農業協同組合中央会  
聴講およびアドバイザーとして、福井県指導農業士会、青年農業者クラブ連絡協議会代表等  
約60名

## 農業研究に係る合同成果発表会

### 【発表課題一覧】

#### ■福井県立大学

##### 第一発表

＜課題＞水仙の品質保持技術の開発 ～水仙の長期低温保存と輸送への貢献～

＜発表者＞福井県立大学大学院生物資源学研究科(修士課程1年) :横山 夢花

##### 第二発表

＜課題＞福井県での栽培に最適化した「山田錦 FW1 号」の育成

＜発表者＞福井県立大学生物資源学部創造農学科 准教授 :三浦孝太郎

#### ■福井県立福井農林高等学校

##### 第一発表

＜課題＞健康トマトを作るために～機能性表示食品を目指して～

＜発表者＞生物生産科3年 石塚也紗、菅原美沙希、藤本安寿紗、水井菜月

##### 第二発表

＜課題＞季節に合わせた花卉装飾について

＜発表者＞生物生産科3年 佐藤陽介、松永侑大、三川一吹

#### ■福井県農業試験場

##### 第一発表

＜課題＞輸出用米「越南305号」の育成

＜発表者＞品種開発研究部 研究員 町田芳恵

##### 第二発表

＜課題＞キュウリの夏越し長期どり多収栽培技術の確立

＜発表者＞園芸研究センター スマート園芸研究 G 主任研究員 川崎武彦

##### 第三発表

＜課題＞ミニトマト等の房どり体系を核としたポストコロナの衛生野菜生産流通体系の実証

＜発表者＞園芸研究センター スマート園芸研究 G 主事 森 聡太

以上 7課題(発表時間10分 パワーポイントスライドによる)